

2024 年のベトナムにおける外国直接投資の新たな高み

2025 年 2 月 12 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナムの原子力発電所建設に向けた新たな指導体制

ベトナム政府は、原子力発電所建設のための指導委員会を設立した。指導委員会は首相のファム・ミン・チンが委員長を務め、副委員長にはブイ・タン・ソン副首相が就任し、商工省大臣のグエン・ホン・ディエンが副委員長に任命された。商工省は指導委員会の常設機関として機能し、計画や作業プログラムを策定し、会議の議題と結論草案をまとめる役割を担う。

指導委員会には、商工省のリーダーが組織する支援チームが設けられ、そのメンバーには関連省庁の職員や専門家が含まれる。支援チームの設立は商工省大臣が決定し、メンバーは商工省大臣および科学技術省大臣が選定する。指導委員会の主な任務は、ニントゥアン原子力発電プロジェクトへの投資方針を継続的に実施し、建設過程での問題解決策を提案することにある。

また、原子力発電の発展に必要な法令の改正や補足を行い、安全性と効率性を確保するための研究プログラムを構築し、報告書を作成して権限ある機関に提出する。国際的な協力も重視されており、他国や国際機関、国際原子力機関（IAEA）との連携が求められている。指導委員会はニントゥアン原子力発電プロジェクトの進捗状況について定期的に首相に報告する義務がある。

2024 年 11 月 25 日にはハノイで共産党中央委員会が会合を開き、ベトナムにおける原子力プログラムについて意見交換していた。そこでは、中央委員会はニントゥアン原子力発電プロジェクトの再始動と原子力プログラム研究の継続に基本的に合意し、国家エネルギー安全保障を確保し、社会経済発展の目標に応えるために科学技術力を強化し持続可能な発展を図る方針を確認した。

以上